

令和2年度淀川区区政会議 第1回コミュニティ力向上部会 議事要旨

日 時：令和2年10月2日（金）午後6時40分～午後7時36分

場 所：淀川区役所 5階 501会議室

出席者：

- ・委員5名（7名中）
奥委員、光在委員、中井委員、福岡委員、横山委員
[欠席委員：川阪委員、山本委員]
- ・区役所
西総務課長、畑中市民協働課長、山崎市民協働課長代理、
藏本政策企画課担当係長 ほか

内 容：

1. 議 題

(1) 令和2年度淀川区運営方針の中間振り返りについて

資 料：

【当日配布資料】

- ・次第
- ・区政会議部会名簿
- ・座席表
- ・よどマガ10月号

【事前配布資料】

- ・（資料1）区政会議（部会・全体会議）においてご意見をうかがいたい内容
 - ・（資料2）令和2年度 運営方針重点的に取り組む主な経営課題（概要版）
-

1. 議 題

(1) 令和2年度淀川区運営方針の中間振り返りについて

○ご意見を頂きたい点について説明。（藏本政策企画課担当係長）

○経営課題3 つながるまちの実現の具体的取組3-1-1～3-1-3について説明（畑中市民協働課長）

- ・3-1-1のこの数値は、妥当であると思う。淀川区の、若い人たちは、例えばワンルームに住んでおられる方たちは、会社や友達とのつながりほうが重要で、地域の中のとつながりよりも重要だと考えていると思う。ある程度、年齢を

重ねれば、地域のつながりを重視してくると思うが、この数値を上へ上げていくというのは、難しいことではないかと思う。(福岡委員)

・私の地域でもかなりの数のワンルームマンションの建設があったが、若い方が入ってこられた方と、地域の古い地元のファミリータイプの方との接触点が少なくなったことが、大きな原因だと思う。人口は増えているが、つながりがすごく薄くなっているので、目標値のパーセンテージが上がらない。(中井委員)

・NPOなり企業といった住民を対象にいろんな活動を広げて行こうということであったが、なかなかそれらの人を取り込めない。しかし、そこに所属している若者は、おそらく、地元への問題意識が非常に高いと思うので、この若者をいかに引き寄せて住民とつなげるかが重要である。そのため、3-1-3の目標値は高いものにして、意識を持ってみんなで取り組むことが解決策になると思う。(横山委員)

・個人ではなく企業の経営者の方を引き込んで、地域活動協議会と一緒に活動してもらい、その中で社員にも参加してもらえよう形にすると思う。(福岡委員)

⇒地域の防災訓練にその会社の方が来られるという事例もあった。(山崎市民協働課長代理)

・地活協との協働に限らず、企業同士、NPOと企業とかに対象を広げてもいいのではないか。(横山委員)

・新たに地域活動協議会とNPOや企業が、活動に取り組むというのはどういうことなのか。加島地域で言えば移動販売がそれにあたるのか。今まで実施した取り組みとは、どのような取り組みなのか。(光在委員)

⇒加島地域の移動販売のような取り組みが該当するが、そのような取り組みについてもっと情報発信していく必要がある。(山崎市民協働課長代理)

⇒例えば十三であれば、河川敷のフェスティバル実行委員会と協働で実施する十三東公園「こどもキラキラまつり」、加島であれば「加島人権勉強会」。西中島であれば、大阪ウェディング&ブライダル専門学校との防災訓練があった。(畑中市民協働課長)

・地域活動協議会の受入れ体制を整え、門戸を開けるような姿勢が必要かもしれない。(福岡委員)

○経営課題4 区民のための区役所づくりの具体的取組 4-1-1~4-2-1 について説明(蔵本政策企画課担当係長)

○経営課題4 区民のための区役所づくりの具体的取組 4-3-1~4-4-1 について説明(西総務課長)

・星1つというのは、厳しい。もっと上のように思うが、かなり厳しい点の付け方。

(福岡委員)

⇒我々も思わぬところで低い点数を付けられた。例えば、フロアによっては、バリアフリーの観点から背の低いカウンターを置いているが、その場所がわかりにくいということで、バリアフリーに対して低い評価を受けた。(西総務課長)

- そもそも区役所は民間のサービス業とは違うと考えている。職員が働いていることに誇りを持ち、自信を持てると、相手に対しても明るく接するようになり、気持ちよく仕事をすることもできる。4-4-1 で書かれているように職場の風通しがよくなれば、4-3-1 の目標である接遇の向上にもつながると思う。(奥委員)